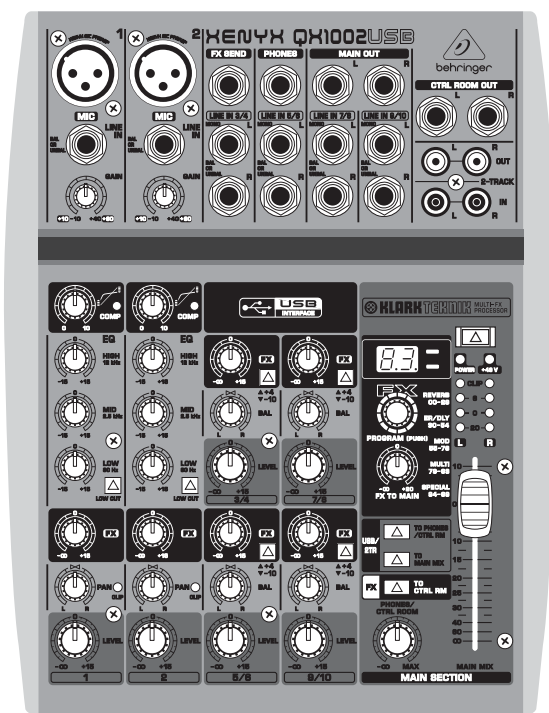




XENYX QX1202USB/QX1002USB

Premium 12/10-Input 2-Bus Mixer with XENYX Mic Preamps & Compressors,
British EQs, Klark Teknik Multi-FX Processor and USB/Audio Interface

JP

JP

安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたできません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Oberheim、Auratone および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

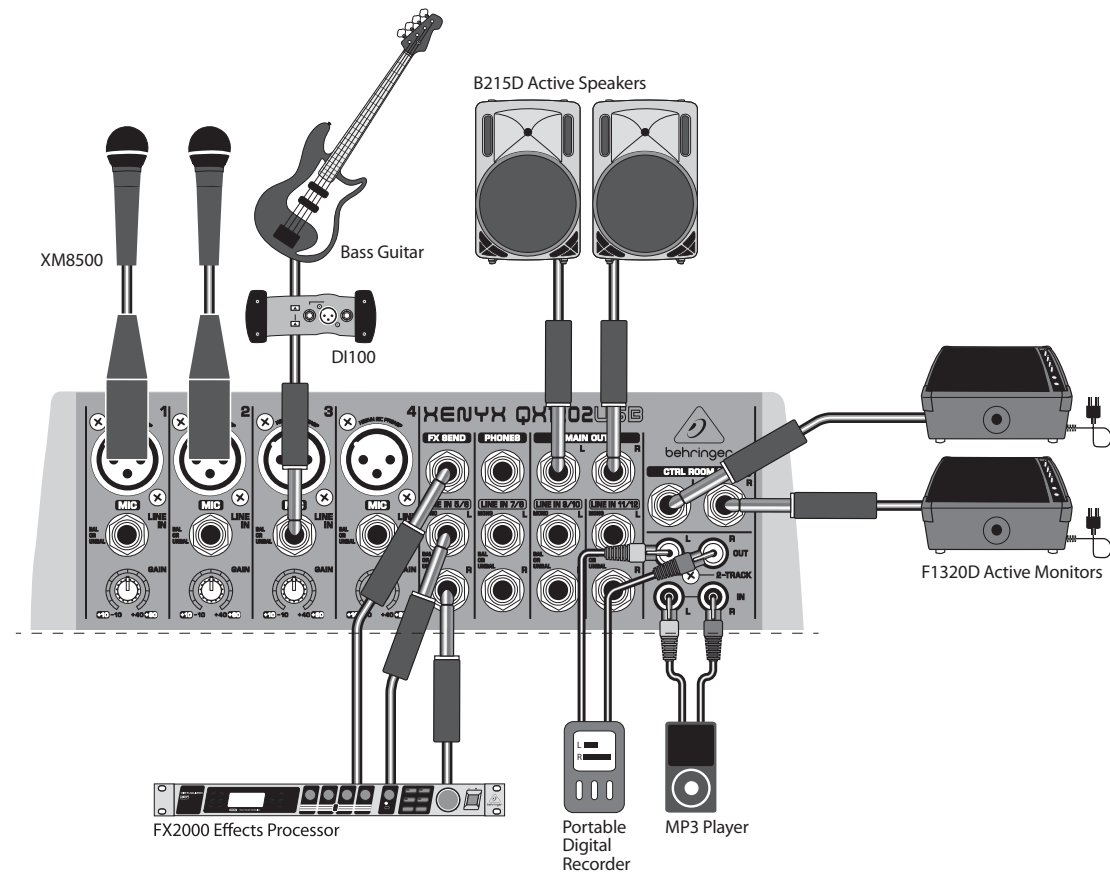
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

XENYX QX1202USB/QX1002USB フックアップ

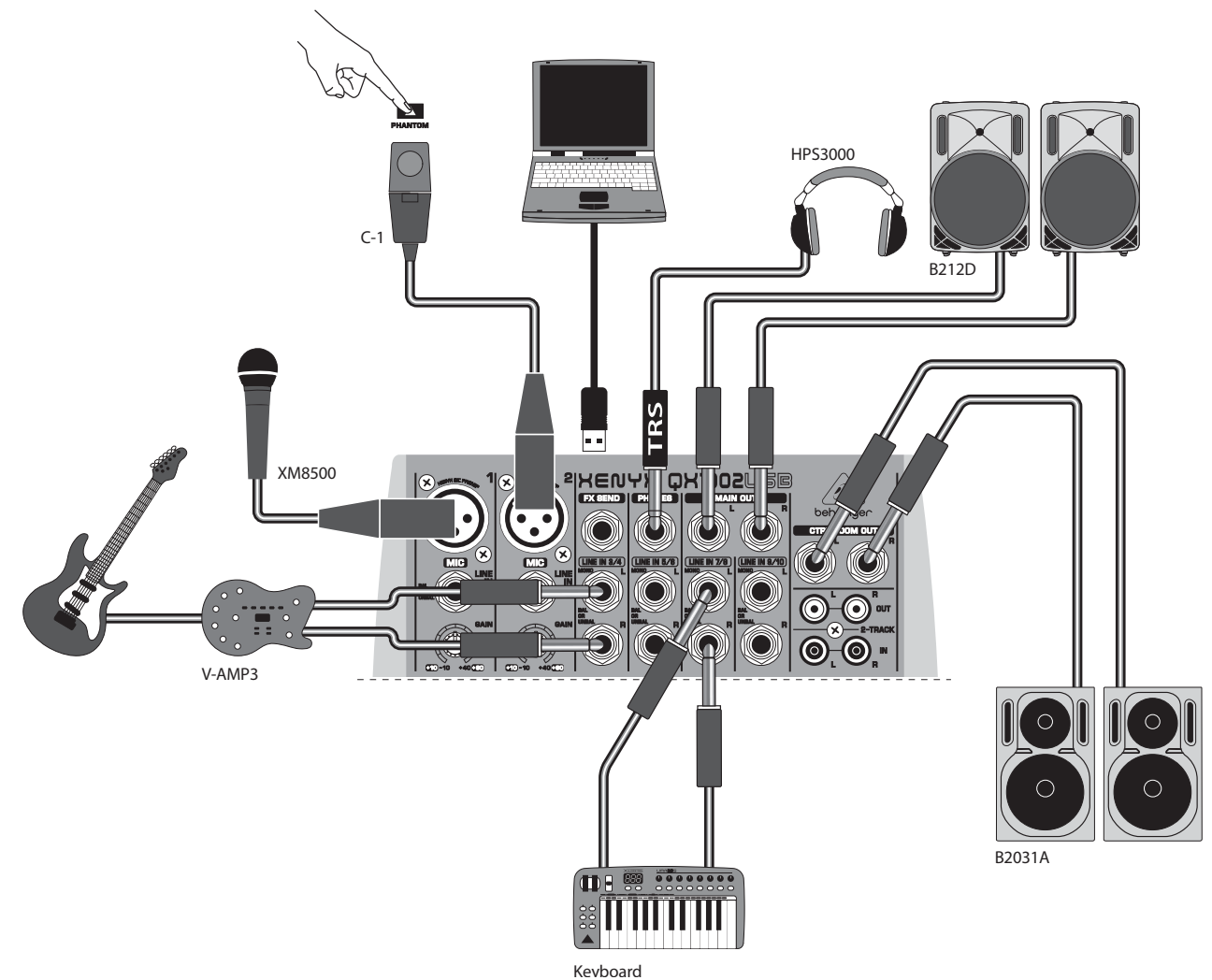
JP

ステップ 1: フックアップ

ライブパフォーマンス



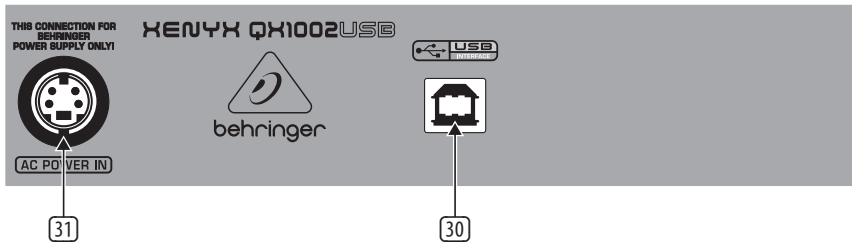
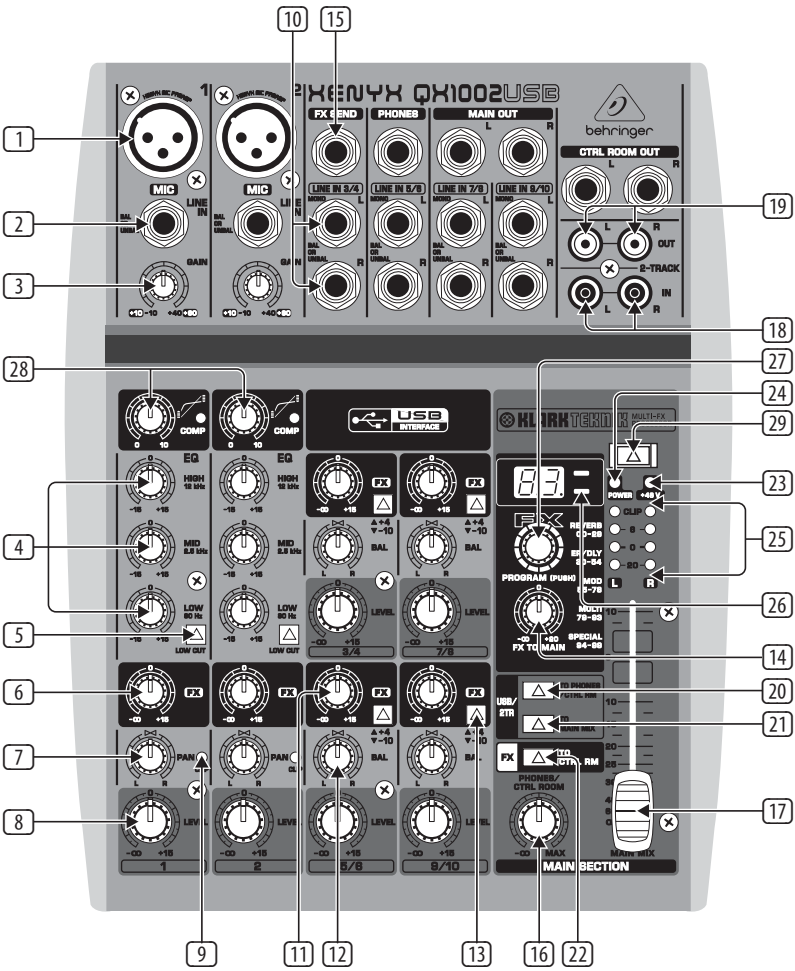
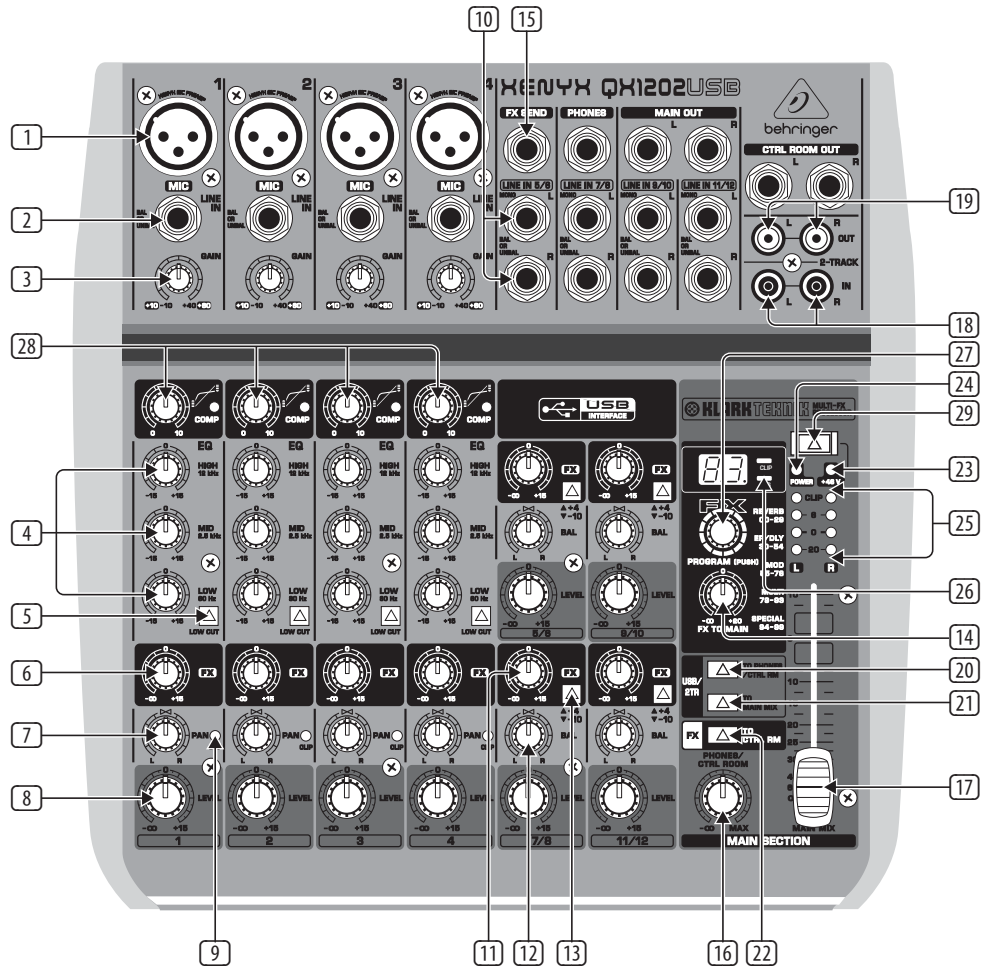
ホームスタジオ



XENYX QX1202USB/QX1002USB コントロール

JP

ステップ 2: コントロール



XENYX QX1202USB/QX1002USB コントロール

ステップ 2: コントロール

この章ではこのミキサーの多彩な操作部について説明し、各コントローラー、スイッチおよび接続端子についての詳細説明を得られます。

- ① **MIC** – それぞれのモノ入力チャンネルは XLR コネクターを使用してバランス型マイクロフォンを接続できます。そしてまた、スイッチの切り替えによりコンデンサーマイク用 +48V ファントム電源も供給できます。XENYX のプリアンプは、外部の高価なプリアンプでしか実現できない類稀な低歪、低ゲインノイズを提供できます。
- ② **LINE IN** – モノラル入力にはさらに 6.3 mm フォンジャックによるバランス型ライン入力端子が装備されています。これらの入力端子にはアンバランス型プラグ (モノラルジャック) を接続することも可能です。マイク入力およびライン入力の両チャンネルの同時使用は絶対にお避けください。
- ③ **GAIN** – GAIN ボットは入力信号増幅の設定に使用します。信号源をいずれかの入力端子に接続したり、そこから切り離したりする際には、必ずこのコントローラーを左端まで回転させてください。
- ④ **イコライザー** – 各モノラル入力チャンネルには、3 バンドサウンドコントローラーが装備されています。各バンドごとに最高 15 dB の高低調整が可能です。各バンドを真中に設定するとイコライザーはニュートラルとなります。
- ⑤ **LOW CUT** – さらにモノラルチャンネルには傾斜の強い LO CUT フィルターが装備されており、好ましくない低域周波数信号を削除することができます。
- ⑥ **FX** – FX センドは、信号を単数および複数のチャンネルから信号を取り出し、バスに総括することができます。バスはミキサーの FX センド出力にあり、ここから外部エフェクト機器に信号を送り込むことが出来ます。エフェクト機器からのリターンは、ステレオチャンネルを経由して行うことが可能です。各 FX センドはモノで、+15 dB までのゲインとなっています。QX1002USB/QX1202USB においては、FX センドは直接内蔵エフェクトプロセッサーへとルートされます。エフェクトプロセッサーが入力信号を受信しているのを確認する目的で、このコントローラーを左端 (-∞) まで廻すのはおやめください。

- ⑦ **PAN** – PAN コントローラーにより、ステレオ領域内におけるチャンネル信号の位置を設定します。コンスタント・パワー特性を有するこの機構では、ステレオパノ라마内の信号位置に関係なくレベル量を一定に保つことが可能です。
- ⑧ **LEVEL** – LEVEL コントローラーにより、メインミックス内のチャンネル信号のレベルを設定します。
- ⑨ **CLIP** – 入力信号が高くなりすぎると、モノラルチャンネルの PEAK-LED 表示が点灯します。この場合には、GAIN コントローラーを使用し、LED ランプが消えるまで前置増幅を下げてください。
- ⑩ **LINE IN** – 各ステレオチャンネルには、左右チャンネルの各フォンジャックにバランス型ラインレベル入力が 2 つずつ装備されています。チャンネルをモノラル使用する際には、「L」ジャックのみを使います。ステレオチャンネルは典型的なラインレベル信号用に構成されています。両方のジャックにはアンバランス型プラグを接続することも可能です。
- ⑪ **FX** – ステレオチャンネルの FX センド経路はモノラルチャンネルと同様の機能を有します。両方の FX センド経路はモノラル方式となっているため、信号が一つのモノラル出力としてミックスされてから FX バス (一本の回路) へ送られます。
- ⑫ **BAL** – チャンネルのステレオ出力をおこなう際には、左右の入力信号が左または右のメインミックスバスへ出力される前の、相対的な左右入力信号の割合を BAL (バランス) コントローラーで調節します。左側のライン入力によりチャンネルをモノラルとして使用する場合、このコントローラーはモノラルチャンネルの PAN コントローラーと同様の機能を有します。
- ⑬ **+4/-10** – XENYX QX1002USB および QX1202USB のステレオ入力には、入力レベル調整用スイッチが装備されており、+4 dBu ~ -10 dBV 間の入力感度の切替が可能です。-10 dBV (ホームレコーディングレベル) に設定した場合は、+4 dBu (スタジオレベル) の場合に比べて入力感度が高くなります。

- ⑭ **FX TO MAIN** – FX TO MAIN コントローラーは、エフェクト信号をメインミックスに送り込みます。このコントローラーを左端まで廻しきると、ミキサーのサム信号にエフェクト信号は一切加わりません。
- ⑮ **FX SEND** – FX SEND コネクターは、FX コントローラーを使用して各チャンネルから取り出した信号を出力する際に使用します。エフェクトバスのマスター信号を処理するためには、このコネクターを外部エフェクト機器の入力端子に接続してください。処理された信号は、エフェクト機器の出力部からステレオ入力へとルートされます。
- ⑯ **PHONES/CONTROL ROOM** – PHONES 接続端子 (上記接続フィールド参照) はステレオフォンジャックとして装備されていますので、ここにヘッドフォンを接続してください。CONTROL ROOM OUT ジャック (アンバランス型フォンジャック) を使用し、信号を総体的 (エフェクトミックスおよびメインミックス) もしくは個別にコントロールすることが可能です。PHONES/CONTROL ROOM コントローラーにより、両方の出力レベルを設定することが出来ます。
- ⑰ **MAIN MIX** – MAIN OUT ジャックはモノラルフォンジャックとしてつのバランス型に装備されています。ここでのメインミックス総体信号のレベルはおよそ 0 dBu となっています。MAIN MIX フェーダーにより出力音量を設定することが可能です。
- ⑱ **CD/TAPE INPUT** – TAPE INPUT ジャックには、CD プレーヤーやテープデッキなどの外部信号源を接続します。もう 1 機の XENYX や当社の ULTRALINK PRO MX882 などからの出力信号をこれらのジャックに接続し、ステレオライン入力として使用することも可能です。
- ⑲ **CD/TAPE OUTPUT** – これらの端子はピンプラグコネクターとなっており、MAIN OUT と並列に結線されています。サウンドカードやレコーダーはここに接続してください。出力信号レベルは、非常に正確な MAIN MIX フェーダーで行います。
- ⑳ **USB/2-TR TO PHONES/CTRL RM** ボタンは USB/2 トラックのプレイバック信号を PHONES/CTRL ROOM へ接続します。

- ㉑ **USB/2-TR TO MAIN MIX** ボタンは USB/2 トラックのプレイバック信号を MAIN MIX へ接続し、2-TR OUT/USB レコーディングの信号をミュートします。
- ㉒ **FX TO CTRL ROOM** – ヘッドフォンおよびモニタースピーカーを使用し、FX センド信号のみをモニタリングする場合には FX TO CTRL R スwitchを押してください。これによりメインミックス信号の音量が切られ、FX SEND 出力信号のみがモニタリングできるようになります。
- ㉓ **ファントム電源** – PHANTOM スwitchにより、モノラルチャンネルの XLR ジャックへのファントム電源供給機能を起動させます。この機能はコンデンサーマイクを使用する際に必要となります。この機能が起動されると、赤色の +48V LED ランプが点灯します。通常はダイナミックマイク (バランス型) のご使用も可能です。不明点に関してはマイクの各製造元にお問い合わせください。
- ㉔ **POWER** – 青色の POWER LED 表示は機器の電源投入を示します。
- ㉕ **レベル表示** – 高精確 4 セグメント・レベル表示により、表示信号の強弱が常時正確にご覧いただけます。
- ㉖ **SIGNAL** と **CLIP LED** – エフェクトモジュールの SIGNAL LED には、十分な高さのレベルを持つ信号の存在が表示されます。この LED は常に点灯していません。しかし、クリップ LED はまれに点灯するようにしてください。クリップ LED が常に点灯していると、エフェクトプロセッサーをオーバードライブしていることとなり、不快な歪みの原因となってしまいます。歪みが発生した場合は、FX コントローラーをいくらか下げてください。
- ㉗ **PROGRAM** – PROGRAM コントローラーには二つの機能があります: これを廻すことで、エフェクトの番号を呼び出します。呼び出したプリセットの番号がディスプレイに点滅によって表示されます。この選択を決定する場合は、このコントローラーを押してください。点滅が消えます。
- ㉘ **COMP** – このノブはチャンネルのコンプレッサーの圧縮量を調整します。
- ㉙ **PHANTOM** – このボタンを押すことにより、XLR 入力にファンタム電源 +48V が送られコンデンサーマイクを使用する事が出来ます。



このミキサーは USB にて電気供給できない為、ミキサーに合わせるアダプタで電気供給してください。

JP

XENYX QX1202USB/QX1002USB はじめに

ステップ 3: はじめに

レベル調整: レベルを入れる際には、入力チャンネルの LEVEL コントローラーを中位置 (0 dB) に設定し、GAIN コントローラーで入力増幅を 0 dB に上げてください。

デジタルレコーダーを使用してレコーディングをおこなう際には、レコーダーのピークメーターが 0 dB を超過しないようにしてください。アナログ方式の場合とは異なり、デジタル方式でレコーディングおこなった場合、微小かつ突発的な過入力も耳障りなデジタル歪み発生の原因となります。XENYX に装備されているピークメーターは、ほぼ周波数依存性なくレベルを表示します。信号全種に対してレコーディングレベルを 0 dB とすることが推奨されます。

Presets List

Reverb	
00	Small Chamber
01	Mid Chamber
02	Big Chamber
03	Theater
04	Small Room 1
05	Small Room 2
06	Mid Room 1
07	Mid Room 2
08	Large Room
09	Small Hall
10	Concert Hall
11	Mid Hall
12	Big Hall
13	Ambient Hall
14	Church
15	Short Plate
16	Mid Plate
17	Long Plate
18	Gold Plate
19	Vint250Verb 1
20	Vint250Verb 2
21	Mid Spring
22	Long Spring
23	Gated Reverb Short
24	Gated Reverb Mid
25	Gated Reverb Long
26	Gated Alive
27	Reverse Short
28	Reverse Mid
29	Reverse Long

Early Reflections / Delay	
30	Short Ambience
31	Mid Ambience
32	Live Ambience
33	Big Ambience
34	Stadium
35	Early Reflections 1
36	Early Reflections 2
37	Early Reflections 3
38	Early Reflections 4
39	Slap Delay

Early Reflections / Delay	
40	Short Delay 1
41	Short Delay 2
42	Mid Delay 1
43	Mid Delay 2
44	Mid Delay 3
45	Long Delay 1
46	Long Delay 2
47	Long Delay 3
48	Stereo Delay
49	Ping-Pong Delay
50	Short Echo
51	Mid Echo 1
52	Mid Echo 2
53	Long Echo 1
54	Long Echo 2

Modulation	
55	Soft Chorus
56	Warm Chorus
57	Phat Chorus
58	Classic Flanger
59	Warm Flanger
60	Stereo Flanger
61	Classic Phaser
62	Warm Phaser
63	Heavy Phaser
64	Stereo Phaser
65	Slow Tremolo
66	Fast Tremolo
67	Panner 1
68	Panner 2
69	Detune 1
70	Detune 2
71	Minor Third Up
72	Major Third Up
73	Fifth Up
74	Fourth Down
75	Octave Down
76	Minor Chord
77	Major Chord
78	Jazzy

Multi	
79	Delay + Chorus 1
80	Delay + Chorus 2
81	Delay + Chorus 3
82	Delay + Flanger 1
83	Delay + Flanger 2
84	Delay + Pitch 1
85	Delay + Pitch 2
86	Delay + Reverb 1
87	Delay + Reverb 2
88	Delay + Reverb 3
89	Chorus + Reverb 1
90	Chorus + Reverb 2
91	Flanger + Reverb 1
92	Flanger + Reverb 2
93	Detune + Reverb

Special FX	
94	LFO Filter 1
95	LFO Filter 2
96	Talkbox 1
97	Talkbox 2
98	Overdrive
99	Distortion

JP 技術仕様

QX1202USB		QX1002USB	
モノラル入力			
マイク入力 (XENYX マイクプリアンプ)			
タイプ	XLR コネクタ、バランス型ディスクリート入力回路		
マイク EIN (20 Hz〜20 kHz)			
@0Ω ソース抵抗	-133 dB / 137 dBA 加重		
@50Ω ソース抵抗	-130 dB / 134 dBA 加重		
@150Ω ソース抵抗	-127 dB / 131 dBA 加重		
周波数応答 (-1 dB)	<10 Hz-150 kHz (-1 dB)		
周波数応答 (-3 dB)	<10 Hz-200 kHz (-3 dB)		
ゲイン範囲	+10 dB〜 +60 dB		
最大 入力レベル	+10.8 dBu @ +10dBゲイン		
インピーダンス	1.9kΩ バランス		
信号対雑音比	107 dB / 110 dB A 加重、+22dB ゲイン		
歪み (THD + N)	0.006% / 0.005%A 加重		
ライン入力			
タイプ	¼" TRS コネクタ、バランス		
インピーダンス	20kΩ 平衡、10kΩ 不平衡		
ゲイン範囲	-10 dB〜 +40 dB		
最大 入力レベル	+21 dBu @ 0dB ゲイン		
周波数応答 (マイク入力メイン出力)			
<10 Hz - 137 kHz	±3 dB		
ステレオ入力			
タイプ	2 x ¼" TRS コネクタ、バランス型		
インピーダンス	20kΩ 平衡、10kΩ 不平衡 (+4 dBu 動作レベル) 20kΩ 平衡、5kΩ 不平衡 (-10 dBV)		
ゲイン範囲	-20 dB〜 +20 dB		
最大 入力レベル	+22 dBu		
CD/テープイン			
タイプ	RCA コネクタ		
インピーダンス	19.5kΩ		
最大 入力レベル	+21 dBu		
イコライザ			
低	80 Hz / ±15dB		
ミッド	2.5 kHz / ±15dB		
高い	12 kHz / ±15dB		
補助送信			
タイプ	¼" TRS コネクタ、バランス		
インピーダンス	120Ω		
最大 出力レベル	+21 dBu		
補助リターン			
タイプ	¼" TRS コネクタ、バランス		
インピーダンス	20kΩ 平衡、10kΩ 不平衡		
最大 入力レベル	+21 dBu		

QX1202USB		QX1002USB	
主な出力			
タイプ	¼" TRS コネクタ、バランス		
インピーダンス	120Ω バランス		
最大 出力レベル	+21 dBu		
制御室の出力			
タイプ	¼" TRSコネクタ、バランス		
インピーダンス	120Ω		
最大 出力レベル	+21 dBu		
電話出力			
タイプ	¼" TRS コネクタ、不平衡		
最大 出力レベル	+21 dBu /22Ω (+25 dBm)		
CD/テープアウト			
タイプ	RCA コネクタ、不平衡		
インピーダンス	1kΩ		
最大 出力レベル	+21 dBu		
メインミックスシステムデータ (ノイズ)			
メインミックス @-∞ 、チャンネルフェーダー 一@-∞	-105 dB / -108 dBA 加重		
メインミックス @ 0 dB、 チャンネルフェーダー 一@-∞	-93 dB / -96 dBA 加重		
メインミックス @ 0 dB、 チャンネルフェーダー 一@ 0 dB	-83 dB / -85 dBA 加重		
FXセクション			
タイプ	Klark Teknik		
インピーダンス	24 ビットシグマデルタ		
最大 出力レベル	40 kHz		
電源			
アメリカ/カナダ	120 V～、60 Hz		
アダプタ	MXUL6		
オーストラリア	230～240 V～、50 Hz		
アダプタ	MXSAA6		
英国/ヨーロッパ	230 V～、50 Hz		
アダプタ	MXUK6 / MXEU6		
中国/韓国	220 V～、50 Hz / 220 V～、60 Hz		
アダプタ	MXCCC6 / MXKR6		
日本	100 V～、50/60 Hz		
アダプタ	MXJP6		
出力	2 x 14.8 V～、2 x 500 mA		
USB			
コネクタ	タイプ B		
サンプルレート	48 kHz		
物理的/重量			
寸法 (H x W x D)	50 x 250 x 248 mm (2.0 x 9.8 x 9.8")	50 x 195 x 248 mm (2.0 x 7.7 x 9.8")	
重量	1.5 kg (3.3 ポンド)	1.1 kg (2.4 ポンド)	

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. **ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
2. **故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
3. **電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You